

報道資料

平成21年7月29日
電源開発株式会社
中国電力株式会社

大崎クールジェン株式会社の設立について

Jパワー（電源開発株式会社、本社：東京都中央区、社長：北村^{きたむら} 雅良^{まさよし}）と中国電力株式会社（本社：広島県広島市中区、社長：山下^{やました} 隆^{たかし}）は、「酸素吹石炭ガス化複合発電（酸素吹IGCC）技術」および「CO₂分離回収技術」に関する大型実証試験を効率的に進めるための新会社「大崎クールジェン株式会社」を、本日、両社の共同出資により設立しました。

これまで両社は、供給安定性と経済性の両面で優れている石炭を重要なエネルギー資源と位置づけ、火力発電所における蒸気条件の高温・高圧化による高効率化などに努めてまいりました。

一方、地球温暖化問題の対応が強く求められる中、さらなる高効率化とクリーン化による低炭素化を目指す革新的な石炭火力技術として、Jパワーが国および新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の支援を受けて研究してきた多目的石炭ガス製造技術（EAGLE）の成果を活用し、平成18年度から酸素吹IGCC技術開発のための共同検討を行い、大型実証試験を中国電力株式会社 大崎発電所構内（広島県豊田郡大崎上島町）において共同で実施することで諸準備を進めてまいりました。

（平成18年5月31日、平成20年6月2日 お知らせ済み）

大崎クールジェン株式会社は、17万kW級の酸素吹石炭ガス化技術の大型実証試験設備の建設を行い、酸素吹IGCCシステムとしての信頼性・経済性・運用性等を検証し、その後引き続き最新のCO₂分離回収技術の適用試験による検証を行ってまいります。本実証試験を着実に前進させることで、将来的には、大型燃料電池との組み合わせにより、さらに高い効率が得られる「石炭ガス化燃料電池複合発電（IGFC）」の可能性も出てまいります。

大崎クールジェン株式会社は、本年8月から環境アセスメントを実施し、平成25年3月の建設工事開始、平成29年3月の実証試験開始を目指してまいります。

これらの技術は、国の「Cool Earth エネルギー革新技术計画」に示されたロードマップに、「高効率石炭火力発電」および「二酸化炭素回収・貯留」の技術開発として位置づけられています。さらに、国の審議会の報告において提言された「Cool Gen 計画^{*}」の実現を目指すものです。

※ Cool Gen 計画とは、平成21年6月に経済産業省の総合資源エネルギー調査会鉱業分科会クリーンコール部会にて提言された、IGCC、究極の石炭火力発電を目指すIGFCと二酸化炭素回収・貯留（CCS）を組み合わせた「ゼロエミッション石炭火力発電」の実現を目指した実証研究プロジェクトを推進する計画です。

IGCC：石炭ガス化複合発電（Integrated Coal Gasification Combined Cycle）
石炭をガス化し、ガスタービンと蒸気タービンにより複合発電する技術

IGFC：石炭ガス化燃料電池複合発電（Integrated Coal Gasification Fuel Cell Combined Cycle）
IGCCに燃料電池を組み合わせることで発電効率を向上させる技術

